

補助金等調書

(2-1)

番号	33	担当課名	生涯学習課	補助開始年度	昭和54年度		
補助金等の名称	子ども会育成会連絡協議会事業補助金						
交付要綱等の名称	印西市社会教育関係補助金交付要綱						
	終了年限の有無 (無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (平成31年度廃止予定))						
要綱に規定する交付対象者	市内で活動している子ども会の育成者が組織する連合の団体						
団体の運営に関して補助金を交付している場合	団体名 (複数ある場合、団体ごとに別葉とする。)		設立年月日	構成人数			
	印西市子ども会育成連絡協議会 (加盟5団体)		昭和54年4月1日	236人			
	市から補助を受けていない市内類似団体の有無 (有・ <input checked="" type="radio"/> 無) 有の場合は、類似団体数 ()						
	市の施策に対する貢献内容 (当該団体への補助金等交付年数も記載してください。) 青少年の「生きる力」を育む異年齢集団活動や地域の大人との交流による地域での青少年健全育成を行うとともに、子どもを介した大人同士の交流による地域づくりを図り、印西市総合計画の施策③青少年の健全育成に貢献している。 補助金交付年数：40年						
助成団体等の状況	区分		平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度予算額		
	歳入	市補助金		214,447	71,368	145,900	
		内訳	国庫補助金				
			県補助金				
			その他				
			一般財源				
		会費		43,950	17,200	20,000	
		事業収入		187,500	61,300	90,000	
		その他		53	0	50	
		合計		445,950	149,868	255,950	
	歳出	人件費					
		事務費		19,275	24,615	57,150	
		事業費		262,275	64,453	126,400	
		その他		164,400	60,800	72,400	
		合計		445,950	149,868	255,950	
翌年度繰越金		0	0	0			
補助制度内容 (下部組織等の配分も明記)		1 国補助 ・ 2 県補助 ・ <input checked="" type="radio"/> 3 単独 ・ 4 市単独上乗せ					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象経費…報償費、旅費、消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、賄材料費、通信運搬費、保険料、使用料、賃借料及び負担金 ・ 補助率等…対象経費の80パーセント以内。ただし、1団体51万円を限度とする。 ・ 下部組織等への配分なし。 					

補助制度の 目的、効果、 公益性	<p>目的及び効果について出来る限り詳細に記入してください。(別紙可)</p> <p>① 補助金等を交付する目的を記載してください。(市の上位計画等の施策のどの項目に当てはまるのか。その施策を遂行する上で何故補助金等として交付する必要があるのか。当該補助金等の重要性(必要性)についても併せて記載してください。)</p> <p>子ども会の活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。 第2次基本計画基本目標4-②施策2「地域で子どもたちを守り育てる環境づくり」の青少年の健全育成活動の推進につながる。</p> <p>② 平成29年度予算計上の積算根拠を記載してください。(平成30年度からの補助金の場合は平成30年度予算の積算根拠を記入してください。)</p> <p>平成28年度総事業費 696,550円に対し実績から480,000円を予算計上。 平成27年度実績・・・総事業費705,107円(内補助額 370,098円) 平成26年度実績・・・総事業費717,035円(内補助額 328,729円)</p> <p>③ 平成29年度の実績を記載してください(実績がない場合は、実績なしと記入してください。)</p> <p>予算額480,000円に対し109,000円を交付。 市子ども会連絡協議会加盟団体の減により、補助金精算額71,368円</p> <p>④ 補助効果をできるだけ詳細に記載してください。数値化できるものは、数値化してください。</p> <p>全市域を対象として、学区を超えて交流を図るとともに異年齢集団による競技を通して自主性や思いやりを学ぶドッジボール大会、実際に歩くことで自分たちの住む地域を知るとともに集団行動による協調性や思いやりを学ぶウォークラリー大会、高齢者とグランドゴルフなどを行うことで祖父母世代との交流を図る世代交流会、保護者を含めた子ども同士の交流を図るドッジビー大会など、体験活動を通して、青少年の自主性や・社会性・コミュニケーション能力などの「生きる力」を育むことができた。 さらに、中学生で組織する印西市ジュニアリーダーズクラブで、リーダーとしての資質の向上を図り、青少年相談員主催の青少年ふれあいキャンプへのリーダー派遣を行い、子ども会活動の活性化を図っている。また、印旛郡・千葉県リーダーズクラブ連合会事業にも積極的に参加し、研鑽を積むとともに、印西市ジュニアリーダーズクラブにその成果を還元している。</p> <p>⑤ 補助金交付の終期の目途がある場合は記載してください。(特に固定化された特定団体に対しての財政的自立に向けての終期設定や政策的事業に対しての終期目安を記載してください。終期到来により継続した場合は、その理由を記載してください。また、終期設定していない場合についても、その理由を記載してください。)</p> <p>平成31年度廃止予定。</p> <p>⑥ 過去に補助率、補助事業の内容等、補助金等の見直しを行ったことがある場合は、その内容を記載してください。また、当該補助金等の今後のあり方(方向性)についても記載してください。</p> <p>平成22年度の合併に伴い、補助率を4分の3以内から80%に、限度額20万円から51万円に変更。 平成31年度廃止予定ではあるが引き続き補助金を交付し、青少年健全育成のため、継続して支援をしたいと考える。</p> <p>⑦ 当該補助金等の公共性・公益性について記載してください。(受益者が特定の者に偏らず、広く市民にいきわたるものであり、また、不特定多数の者の利益の増進に付与すること補助金等であるか。当該補助金等の交付の性質を記載してください。)</p>
	市民の教育、文化、スポーツ振興に寄与するもの
	<p>次世代の社会を担う児童・生徒を健全に育成し、その資質の向上を図るため子ども会活動の推進を図っている。 また、人間関係の希薄化による地域社会崩壊が指摘される現代にあって、子ども会活動を介して、地域での大人同士の交流を図り、地域社会の回復の一助となっている。</p>
	<p>担当課の判定</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 </p>
	<p>判定の理由</p> <p>市子ども会連絡協議会加盟団体は減少しているが、青少年健全育成のためには現状維持で継続。</p>

近隣市類似補助金等の状況

補助金等名	市子ども会育成会連絡協議会事業補助金
-------	--------------------

	補助率（定額補助の場合はその額）	補助上限額
成田市	100万8千円 (予算100万8千円)	100万8千円 (予算100万8千円)
佐倉市	補助対象経費の2分の1以内 ※他に事業委託あり	予算の範囲内 (予算45万円)
四街道市	補助対象経費の3分の2以内	予算の範囲内 (予算27万3千円)
八街市	1単位子ども会あたり9千円	1単位子ども会あたり9千円 (予算18団体16万2千円)
富里市	補助対象経費の2分の1	35万円
白井市	補助なし	—
印西市	補助対象経費の80%以内	51万円

平成30年3月31日



補助事業等実績報告書

印西市長 板倉 正直 様

住所 [Redacted]
 補助事業者 氏名 印西市子ども会 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]

印西市補助金等交付規則第13条の規定により、補助事業等の実施状況を次のとおり報告します。

指令年月日	平成29年 6月 2日	指 令 番 号	印西教生指令第14号
補助事業 年 度	平成29年度	補助金等の名称	印西市社会教育関係補助金
補助事業等の名称		印西市子ども会育成連絡協議会運営事業	
補助事業等	名 称	印西市子ども会育成連絡協議会運営事業	
	施 行 場 所	別紙事業報告のとおり	
着手年月日	平成29年4月1日	完了年月日	平成30年3月31日
交 付 決 定 額		109,000 円	
補 助 事 業 等 の 経 過 及 び 内 容		別紙事業報告のとおり	
添 付 書 類		1 収支決算書 2 完成写真（工事施工等に係る場合） 3 その他（年間事業報告書） 注 申請者が団体等の場合は、補助金の充当状況がわかる収支決算書を添付すること。	

※ 記入しきれない場合は、適宜別紙としても可

平成29年度印西市子ども会育成連絡協議会 会計決算報告

1. 歳入

(円)

項目	予算額	決算額	比較	備考
1. 会費	19,000	17,200	△ 1,800	単位子ども会500円×5団体 =2500円 会員50円×294人=14,700円
2. 事業負担金	9,000	0	△ 9,000	
3. 市補助金	109,000	71,368	△ 37,632	
4. 県子連安全活動奨励費	0	2,500	2,500	
5. 県子連安全活動事務費	5,000	0	△ 5,000	
6. 安全共済会費	66,000	58,800	△ 7,200	会員200円×294人=58,800円
7. 雑収入	50	0	△ 50	
合計	208,050	149,868	△ 58,182	

2. 歳出

(円)

項目	予算額	決算額		比較	備考
		決算額	内市補助金 充当額		
1. 報償費	25,000	20,219	14,690	4,781	安全講習会、ドッジビー大会他
2. 旅費	10,000	14,840	11,872	△ 4,840	育成研修参加
3. 消耗品費	40,000	23,487	18,789	16,513	ドッジビー大会ほか
4. 燃料費	0	0	0	0	
5. 食糧費	40,000	30,522	24,417	9,478	ドッジビー大会他
6. 印刷製本費	16,500	0	0	16,500	
7. 光熱水費	0	0	0	0	
8. 賄材料費	0	0	0	0	
9. 通信運搬費	20,000	0	0	20,000	
10. 保険料	5,000	0	0	5,000	
11. 使用料・負担金	32,400	2,000	1,600	30,400	
12. 賃借料	0	0	0	0	
13. 手数料	1,150	0	0	1,150	
14. 慶弔費	0	0	0	0	
15. 安全共済会費	90,000	58,800	0	31,200	
合計	280,050	149,868	71,368	130,182	

【市補助金返還額】

歳入の市補助金 - 歳出の内市補助金充当額 = 市補助金返還額

109,000円 - 71,368円 = 37,632円 は市に返還いたします。

上記のとおり報告いたします。

平成30年3月31日 印西市子ども会育成連絡協議会 会計



平成29年度印西市子ども会育成連絡協議会 事業報告

1. 印西市子ども会育成連絡協議会（市子連）事業

月 日	内 容	場 所	備 考
4月23日(日)	総会 育成者講習会(安全講習会)	本埜公民館	参加：8名
8月24日(木)	第1回役員会	印旛公民館	参加：3名
8月28日(日)	ジュニアリーダー養成講座	印旛公民館	実施せず
9月14日(木)	第2回役員会	印旛公民館	参加：7名
11月16日(木)	第3回役員会	印旛公民館	参加：6名
11月19日(日)	ドッジビー大会 育成者安全講習会	本埜公民館	参加：5チーム40名 内JL3名
12月11日(日)	ジュニアリーダー養成講座	本埜公民館	実施せず
2月12日(日)	インリーダー研修会 単位子ども会長意見交換会	本埜公民館	実施せず
3月 8日(木)	第4回役員会	印旛公民館	参加：5名
3月22日(木)	次年度各子ども会長会議 安全共済会説明会	印旛公民館	

2. 印旛郡市子ども会育成連合会（印子連）事業

月 日	内 容	場 所	備 考
4月14日(金)	第1回役員会	成田市中央公民館	
5月11日(木)	総会 第2回役員会	佐倉市役所	
6月 4日(日)	実践体験研修会	印西市立印旛公民館	参加：27名(印西11名) 内JL6名
8月30日(水)	第3回役員会	酒々井町中央公民館	
10月21日(土)	実技講習会	八街市中央公民館	参加：22名(印西2名)
12月 4日(月)	第4回役員会	佐倉市役所	
1月27日(土) 1月28日(日)	千葉県子ども会 ジュニアリーダー初級認定講習会	県立東金青年の家	参加：92名(印西4名) 内JL20名(印西2名)
2月13日(火)	第5回役員会	四街道公民館	
2月24日(土)	育成者講習会	富里中央公民館	参加：12名(印西2名)

3. 千葉県子ども会育成連合会（県子連）事業

月 日	内 容	場 所	備 考
5月27日(土)	通常総会	県青少年女性会館	
8月7日(月)～10日(木)	ジュニアリーダー中級研修会	東金青年の家	参加者なし
8月25日(金)～27日(日)	ジュニアリーダー上級研修会	鴨川青年の家	参加者なし
12月25日(月)～27日(日)		東金青年の家	
11月26日(日)	房総子どもかるた千葉県大会	東金アリーナ	

※JL・・・ジュニアリーダーの略

○印西市社会教育関係補助金交付要綱

平成20年3月31日告示第63号

改正

平成22年5月11日告示第135号

平成23年3月31日告示第68号

平成26年3月27日告示第56号

平成29年3月24日告示第28号

印西市社会教育関係補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 市長は、社会教育の振興を図るため、社会教育及び青少年健全育成に関する事業を行うことを主たる目的として設立された団体が行う事業（以下「補助対象事業」という。）に要する経費に対し、予算の範囲内において、印西市補助金等交付規則（昭和53年規則第6号。以下「規則」という。）及びこの要綱に基づき補助金を交付する。

(補助対象事業、経費、補助率等)

第2条 補助金の対象とする経費及び補助金の額は、別表に掲げるとおりとする。

(交付の申請)

第3条 規則第3条第2項第5号に規定する市長が認める書類は、次の書類とする。

(1) 団体規約等

(2) 会員名簿

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年4月1日から施行する。

(失効)

2 この告示は、平成32年3月31日限り、その効力を失う。ただし、この告示の失効前にこの告示の規定によりなされた手続その他の行為は、なお従前の例による。

附 則（平成22年5月11日告示第135号）

この告示は、公示の日から施行し、平成22年度分の予算に係る補助金から適用する。

附 則（平成23年3月31日告示第68号）

この告示は、公示の日から施行する。

附 則（平成26年3月27日告示第56号）

この告示は、公示の日から施行する。

附 則（平成29年3月24日告示第28号）

この告示は、公示の日から施行する。ただし、別表の改正規定は、平成29年

4月1日から施行する。

別表（第2条）

番号	補助対象事業	補助の目的	補助対象者	補助対象経費	補助率等
1	女性の会事業	女性の社会参加を奨励し、男女共同参画社会の推進を図る。	市内に居住する成人女性で構成し、かつ、50人以上で組織する団体	報償費、旅費消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、賄材料費、通信運搬費、保険料、	補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1団体当たり30万円を限度とする。
2	青少年相談員連絡協議会事業	青少年相談員活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	青少年相談員が組織する団体	使用料、賃借料及び負担金	補助対象経費の80パーセント以内。ただし、1団体当たり212万円を限度とする。
3	子ども会育成連絡協議会事業	子ども会の活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	市内で活動している子ども会の育成者が組織する連合の団体		補助対象経費の80パーセント以内。ただし、1団体当たり51万円を限度とする。
4	P T A 連絡協議会事業	各学校のP T A活動の促進を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果	市内の小中学校ごとに保護者及び学校関係者で構成するP T A（保護者と教職員が組織する		補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1団体当たり36万円を限度とする。

		的な推進に資する。	団体を含む。)が組織する連合の団体	
5	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業	学校、家庭及び地域が共に連携し、地域社会の発展を図り、もって青少年の健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進に資する。	市内の中学校区において、青少年の健全育成環境の向上を目指し、関係機関及び団体の代表者、学校関係者で組織するさわやかコミュニティ推進委員会	補助対象経費の額。ただし、1学校区当たり8万円を限度とし、予算の範囲内において配分する。
6	家庭教育学級事業	家庭での教育を行う時に必要な心構え、留意点等を学習する機会を提し、家庭教育の充実を図り、子どもたちの健全な成長と学級生自身の向上に資する。	市立各幼稚園及び市立各小中学校の保護者で構成する家庭教育の向上を目的とする会	補助対象経費の額。ただし、1学校当たり(幼稚園にあつては1幼稚園当たり)8万円を限度とし、予算の範囲内において配分する。
7	芸術文化協会事業	芸術文化の振興を図り、もって地域社会の発展に資する。	市内の文化芸術の種別ごとに総括する単位団体で構成し、かつ、文化的地位の向上と地域文化	補助対象経費の70パーセント以内。ただし、1協会当たり40万円を限度とする。

			の発展に寄 与するため に組織する 協会		
--	--	--	-------------------------------	--	--